

令和7年度 第2回 京都大学防災研究所自然災害研究協議会 議事録

日時：令和7年10月30日（木）14時00分～15時00分

場所：Zoomによるオンライン会議

出席者：1号委員 大湊、河島、滝口（代理）、渦岡、五十子

2号委員 渡部、今村、内村、富田、紅谷、鈴木、蔭、山城

3号委員 加藤、王、河野、小林、角、塚原、杉浦

4号委員 大倉、清水

5号委員 平野

6号委員 廣井

欠席 山口、柴山、畑山、

木下、堀、境、大慈弥、久利、内山

陪席 河津、河村

（敬称略、委員名簿順）

配付資料：

資料1 京都大学防災研究所 自然災害研究協議会 委員名簿

資料1 第2回自然災害研究協議会 出席者名簿

資料2 令和7年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会議事録（案）

資料3 本部・各地区部会の活動報告（中間）

3-1 本部、3-2 北海道地区、3-3 東北地区、3-4 関東地区、3-5 中部地区、

3-6 近畿地区、3-7 中国地区、3-8 四国地区、3-9 西部地区

資料4 第63回自然災害科学総合シンポジウム

議事に先立ち、堀京都大学防災研究所長から挨拶があった。続いて、大慈弥防災科学技術調整官（文部科学省 研究開発局 地震火山防災研究課）から挨拶があった。王委員により、資料1（委員名簿）に基づき、出席者が定足数に達していることが報告された。

議 事：

1. （審議）令和7年度第1回協議会議事録の確認（資料2）

令和7年5月1日開催分の令和7年度第1回京都大学防災研究所自然災害研究協議会の議事録（案）について、確認のうえ、原案どおり承認された。

2. (審議) 令和7年度本部・各地区部会からの活動報告及び今後の活動計画

【資料 3-1～3-9】に基づき、本部および各地区部会より令和7年度の活動報告及び今後の活動計画について報告があった。報告要旨は以下のとおり。

- ・ 本部：第62回自然災害科学総合シンポジウム、(共催) 河川災害に関するシンポジウム(主催：土木学会水工学委員会)、(後援) 防犯防災総合展2025、科研費(特別研究促進費)・突発災害調査の実施、自然災害研究協議会による突発災害(初動調査、継続的調査等)調査研究サポート、データベース SAIGAI の充実、国際展開調査、研究者ネットワーク(人材データベース)
- ・ 北海道地区：(活動報告) 北海道地区幹事会(第1回)、地区フォーラム開催、(活動計画) 北海道地区幹事会第2回、北海道地区総会、北海道地区自然災害科学資料センター報告(Vol.39の発行：3月に予定)、北海道地区自然災害科学資料センターホームページの管理運営(随時)、予算計画
- ・ 東北地区：(活動報告) 東北地区自然災害資料センターの管理運営、ウェブページの管理運営、東北地区部会員名簿・メーリングリストの更新、(活動計画) 東北地域災害科学研究集会及び東北地区部会総会の開催、研究論文集「東北地域災害科学研究」第62巻の発行(2026年3月末を予定)
- ・ 関東地区：(活動報告・活動計画) 災害×ダイバーシティセミナー、桜区避難所開設・運営訓練および講義、予算計画
- ・ 中部地区：(活動報告・活動計画) 東海圏減災研究コンソーシアムシンポジウムの開催等、げんさい楽座のスピナウト企画の開催等、「三重大学・防災アカデミー」の開催、シンポジウム「インフラの耐震性強化・災害復旧とメンテナンス」の開催、東三河地域の防災力向上シンポジウムの開催、自然災害科学中部地区研究集会の開催、「何気ない日常から得る環境問題と防災減災(仮)」の開催、中部地区自然災害資料センターの活動、自然災害調査・報告活動、予算計画
- ・ 近畿地区：(活動報告) 近畿地区部会幹事会の開催(10月8日：オンライン開催)、研究者データベースの更新、防災関連研究集会の共催の募集、(活動計画) 近畿地区部会幹事会の開催、防災関連研究集会の共催、ホームページの内容更新、部会員への情報提供(災害情報、イベントの周知)
- ・ 中国地区：(活動報告・活動計画)
部会ホームページの管理運営を行うとともに内容の充実を図り、部会員へ情報提供等を行う。2025年度自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を実施。自然災

害研究協議会中国地区部会研究論文集（第 12 号）の発行。各防災研究グループへの活動補助（調査旅費、調査用消耗品等）を実施する。中国地方（鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県）に在住する研究者等との研究活動の連携。山口大学地域レジリエンス研究センターと連携して諸活動を展開。

（進捗状況および今後の予定）

今後開催される行事は決まり次第、ホームページ (<https://www.ndrc-chugoku.org/>) に情報を掲載。2026 年 1 月～3 月頃に自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会を実施。研究発表会にあわせて研究論文集第 12 号(電子版)を発行。2025 年 10 月 16 日～18 日に令和 6 年度能登半島地震及び同年 9 月豪雨による災害の現場調査行い、2 名に旅費を支出。引き続き、中国地方在住の研究者と研究活動の連携を図る。中国地区部会研究発表会を山口大学地域レジリエンス研究センターと共催で実施することで発表会の参加者層を広げる。また、その他の行事の企画などでも連携を模索。

- ・ 四国地区：（活動報告・活動計画）突発災害調査又は過去の被災地復興調査、令和 7 年度自然災害フォーラム及び第 20 回南海地震四国地域学術シンポジウム」の合同開催、予算計画
- ・ 西部地区：（活動報告・活動計画）西部地区部会研究発表会の開催、西部地区部会報第 50 号の発行と関係機関等への配布、西部地区部会 HP の作成・管理、西部地区部会メール登録者リストの管理・更新、西部地区部会予算計画

3.（審議）自然災害科学総合シンポジウム開催について

王委員より、資料 4 に基づき開催案の説明があり、原案通り実施することが了承された。

自然災害科学総合シンポジウムを 2 年おきに防災研究所で開催し、中間年では他学会と連携して実施することについては、議論を継続することとした。

4. 今後の予定（第 3 回自然災害研究協議会開催について）

今後日程照会を予定している。

5. その他

無し